

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に全国（宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除く。）の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,341.0千人、「外来」7,260.5千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,341.0千人について、施設の種類の別みると「病院」1,290.1千人、「一般診療所」50.9千人、性別にみると「男」613.6千人、「女」727.5千人、年齢階級別にみると「65歳以上」914.9千人、「75歳以上」661.6千人となっている。

「外来」7,260.5千人について、施設の種類の別みると「病院」1,659.2千人、「一般診療所」4,238.8千人、「歯科診療所」1,362.5千人、性別にみると「男」3,062.5千人、「女」4,198.0千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,329.9千人、「75歳以上」1,829.9千人となっている。

（表1、統計表1、2）

表 1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

（単位：千人）

平成23年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 341.0	1 290.1	50.9	7 260.5	1 659.2	4 238.8	1 362.5
男	613.6	597.4	16.2	3 062.5	765.9	1 713.6	583.0
女	727.5	692.7	34.8	4 198.0	893.3	2 525.2	779.5
0 歳	10.9	10.5	0.4	75.7	14.3	61.3	0.1
1 ～ 4	7.3	7.2	0.1	291.9	36.2	235.1	20.6
5 ～ 9	5.6	5.5	0.1	253.0	28.2	166.2	58.5
10 ～ 14	5.7	5.6	0.0	169.1	22.0	117.1	29.9
15 ～ 19	7.5	7.3	0.2	120.2	19.8	75.8	24.6
20 ～ 24	11.6	10.8	0.8	141.8	28.8	81.0	32.0
25 ～ 29	18.0	15.8	2.2	192.4	41.1	107.9	43.4
30 ～ 34	24.2	21.8	2.4	241.0	53.0	130.2	57.9
35 ～ 39	29.9	28.2	1.7	304.9	68.2	157.1	79.6
40 ～ 44	31.9	31.2	0.6	311.7	71.2	160.1	80.4
45 ～ 49	36.1	35.6	0.5	301.6	72.2	151.2	78.2
50 ～ 54	46.3	45.5	0.8	343.2	83.0	171.0	89.2
55 ～ 59	69.6	68.3	1.3	441.7	110.3	219.5	111.9
60 ～ 64	118.5	116.1	2.4	708.2	178.1	369.1	161.0
65 ～ 69	111.7	109.1	2.6	680.5	169.7	371.4	139.5
70 ～ 74	141.6	137.5	4.0	819.5	202.1	476.5	140.9
75 ～ 79	176.1	170.5	5.6	804.1	197.2	497.4	109.4
80 ～ 84	189.5	181.2	8.3	591.0	151.6	374.0	65.4
85 ～ 89	158.3	150.0	8.2	302.9	77.0	199.2	26.7
90歳以上	137.7	129.4	8.3	131.9	32.2	91.9	7.8
不 詳	3.2	3.0	0.2	34.3	3.1	25.7	5.4
（再 掲）							
65歳以上	914.9	877.7	37.2	3 329.9	829.7	2 010.4	489.8
70歳以上	803.1	768.6	34.5	2 649.4	660.0	1 639.1	350.3
75歳以上	661.6	631.0	30.5	1 829.9	457.9	1 162.6	209.4

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、32頁の参考表1に掲載している。

(2) 傷病分類別

ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に、「V 精神及び行動の障害」282.3千人、「IX 循環器系の疾患」251.3千人、「II 新生物」150.6千人となっている。

病院では、「V 精神及び行動の障害」280.6千人、「IX 循環器系の疾患」241.6千人、「II 新生物」147.8千人の順となっている。一般診療所では、「IX 循環器系の疾患」9.6千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」6.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」5.0千人の順となっている。(表2、統計表3、4)

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計入院患者数

(単位：千人) 平成23年10月

傷病分類	総数	病院	一般診療所
総数	1 341.0	1 290.1	50.9
I 感染症及び寄生虫症	22.4	21.8	0.6
結核 (再掲)	3.9	3.9	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	1.5	1.4	0.1
II 新生物	150.6	147.8	2.7
胃の悪性新生物 (再掲)	14.9	14.7	0.2
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	19.2	18.8	0.5
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	7.9	7.7	0.1
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.3	19.2	0.2
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.5	5.5	0.1
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.5	6.3	0.3
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.0	34.2	1.8
糖尿病 (再掲)	23.9	22.6	1.3
高脂血症 (再掲)	0.4	0.3	0.1
V 精神及び行動の障害	282.3	280.6	1.7
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	39.0	38.3	0.7
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	174.1	174.1	0.1
VI 神経系の疾患	114.9	111.6	3.3
アルツハイマー病 (再掲)	41.0	39.5	1.5
VII 眼及び付属器の疾患	11.9	10.5	1.4
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.6	0.1
IX 循環器系の疾患	251.3	241.6	9.6
高血圧性疾患 (再掲)	7.1	5.9	1.2
心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	58.1	56.1	2.0
脳血管疾患 (再掲)	172.2	166.4	5.8
X 呼吸器系の疾患	89.7	86.1	3.6
喘息 (再掲)	4.4	4.1	0.3
X I 消化器系の疾患	64.3	62.3	2.1
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	-
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.1	0.1	-
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8.0	7.6	0.4
肝疾患 (再掲)	8.7	8.2	0.5
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	15.8	15.4	0.4
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	63.1	58.2	5.0
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	47.6	43.5	4.2
X V 妊娠、分娩及び産じょく	17.6	13.4	4.2
X VI 周産期に発生した病態	6.6	6.3	0.3
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.8	0.1
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.6	17.4	1.3
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	124.8	118.1	6.7
骨折 (再掲)	85.6	80.5	5.1
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8.3	6.6	1.8

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、33頁の参考表2に掲載している。

イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,300.3千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」1,001.8千人、「IX 循環器系の疾患」948.3千人となっている。

病院では、「IX 循環器系の疾患」250.7千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」189.3千人、「II 新生物」177.0千人の順となっている。一般診療所では、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」812.5千人、「IX 循環器系の疾患」697.6千人、「X 呼吸器系の疾患」606.2千人の順となっている。(表3、統計表5、6)

表3 傷病分類別にみた施設の種別推計外来患者数

傷病分類		総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数		7 260.5	1 659.2	4 238.8	1 362.5
I	感染症及び寄生虫症	169.9	42.5	127.4	.
	結核 (再掲)	2.0	1.8	0.2	.
	ウイルス肝炎 (再掲)	33.2	15.4	17.8	.
II	新生物	219.9	177.0	42.9	.
	胃の悪性新生物 (再掲)	19.2	15.4	3.9	.
	結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	24.0	20.4	3.6	.
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	6.1	4.5	1.6	.
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	15.4	13.4	1.9	.
	乳房の悪性新生物 (再掲)	24.2	21.6	2.6	.
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22.3	10.5	11.8	.
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	414.4	124.4	290.0	.
	糖尿病 (再掲)	208.5	77.9	130.6	.
	高脂血症 (再掲)	148.7	22.3	126.4	.
V	精神及び行動の障害	221.2	112.4	108.8	.
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	12.3	3.8	8.5	.
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	60.6	44.8	15.8	.
VI	神経系の疾患	149.8	67.9	81.9	.
	アルツハイマー病 (再掲)	32.3	12.0	20.2	.
VII	眼及び付属器の疾患	294.1	59.4	234.7	.
VIII	耳及び乳様突起の疾患	114.7	16.2	98.5	.
IX	循環器系の疾患	948.3	250.7	697.6	.
	高血圧性疾患 (再掲)	663.5	110.3	553.3	.
	心疾患 (高血圧性のものを除く) (再掲)	134.1	70.2	63.9	.
	脳血管疾患 (再掲)	111.6	51.8	59.9	.
X	呼吸器系の疾患	708.0	101.8	606.2	.
	喘息 (再掲)	129.7	27.3	102.3	.
X I	消化器系の疾患	1 300.3	121.8	160.3	1 018.2
	う蝕 (再掲)	314.3	4.7	1.9	307.7
	歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	400.5	5.4	3.1	391.9
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	126.6	39.3	87.2	.
	肝疾患 (再掲)	41.6	13.1	28.6	.
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	254.0	47.9	206.1	.
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	1 001.8	189.3	812.5	.
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	266.0	103.8	162.2	.
X V	妊娠、分娩及び産じょく	13.9	6.7	7.2	.
X VI	周産期に発生した病態	2.6	2.2	0.3	.
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	11.4	9.1	2.3	.
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	83.7	37.1	46.5	.
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	317.6	102.0	212.8	2.8
	骨折 (再掲)	96.7	38.6	58.1	.
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	746.5	76.5	328.6	341.5

注：宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた数値は、33頁の参考表2に掲載している。

(3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では、「精神病床」293.4千人、「療養病床」286.6千人、「一般病床」707.2千人、一般診療所では、「療養病床」12.7千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床では、「II 新生物」138.7千人、「IX 循環器系の疾患」114.5千人、療養病床では、「IX 循環器系の疾患」125.8千人、「VI 神経系の疾患」35.5千人が多くなっている。(表4)

表4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

(単位：千人) 平成23年10月

傷病分類	総数	病院						一般診療所	療養病床(再掲)
		精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床			
総数	1 341.0	1 290.1	293.4	0.1	2.9	286.6	707.2	50.9	12.7
I 感染症及び寄生虫症	22.4	21.8	0.3	0.0	2.6	1.7	17.2	0.6	0.0
結核 (再掲)	3.9	3.9	0.0	-	2.5	0.3	1.0	0.0	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	1.5	1.4	-	0.0	-	0.2	1.2	0.1	0.0
II 新生物	150.6	147.8	0.2	0.0	0.1	8.9	138.7	2.7	0.6
胃の悪性新生物 (再掲)	14.9	14.7	0.0	0.0	0.0	1.1	13.6	0.2	0.1
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	19.2	18.8	0.0	-	0.0	1.3	17.4	0.5	0.1
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	7.9	7.7	0.0	-	-	0.4	7.3	0.1	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	19.3	19.2	0.0	-	0.0	0.9	18.2	0.2	0.1
乳房の悪性新生物 (再掲)	5.5	5.5	0.0	-	0.0	0.3	5.2	0.1	0.0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6.5	6.3	0.0	-	0.0	0.6	5.6	0.3	0.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	36.0	34.2	0.4	-	0.0	11.4	22.4	1.8	0.4
糖尿病 (再掲)	23.9	22.6	0.1	-	0.0	9.2	13.3	1.3	0.4
高脂血症 (再掲)	0.4	0.3	0.0	-	-	0.1	0.2	0.1	0.0
V 精神及び行動の障害	282.3	280.6	256.9	-	0.0	16.9	6.8	1.7	0.8
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	39.0	38.3	25.9	-	-	11.4	1.0	0.7	0.6
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	174.1	174.1	171.7	-	0.0	1.7	0.7	0.1	0.0
VI 神経系の疾患	114.9	111.6	31.9	-	0.0	35.5	44.2	3.3	1.8
アルツハイマー病 (再掲)	41.0	39.5	27.5	-	-	10.6	1.4	1.5	0.8
VII 眼及び付属器の疾患	11.9	10.5	0.0	-	0.0	0.1	10.4	1.4	0.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2.7	2.6	0.0	-	-	0.1	2.6	0.1	-
IX 循環器系の疾患	251.3	241.6	1.3	0.0	0.0	125.8	114.5	9.6	4.1
高血圧性疾患 (再掲)	7.1	5.9	0.1	-	-	3.4	2.4	1.2	0.4
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.1	56.1	0.1	-	0.0	13.6	42.4	2.0	0.6
脳血管疾患 (再掲)	172.2	166.4	1.0	0.0	0.0	107.2	58.2	5.8	3.0
X 呼吸器系の疾患	89.7	86.1	0.2	0.0	0.1	17.0	68.8	3.6	0.6
喘息 (再掲)	4.4	4.1	0.0	0.0	0.0	0.7	3.4	0.3	0.0
X I 消化器系の疾患	64.3	62.3	0.2	0.0	0.0	5.0	57.1	2.1	0.2
う蝕 (再掲)	0.1	0.1	-	-	-	0.0	0.1	-	-
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.1	0.1	-	-	-	0.0	0.1	-	-
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8.0	7.6	0.0	-	0.0	1.0	6.6	0.4	0.1
肝疾患 (再掲)	8.7	8.2	0.0	0.0	-	1.3	6.9	0.5	0.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	15.8	15.4	0.0	-	0.0	2.9	12.5	0.4	0.0
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	63.1	58.2	0.1	-	0.0	14.2	43.8	5.0	1.4
X IV 腎尿路生殖系系の疾患	47.6	43.5	0.1	0.0	0.0	10.1	33.2	4.2	0.9
X V 妊娠、分娩及び産じょく	17.6	13.4	-	-	-	0.0	13.4	4.2	-
X VI 周産期に発生した病態	6.6	6.3	-	-	-	0.0	6.3	0.3	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.8	0.1	-	-	0.4	5.2	0.1	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18.6	17.4	0.7	0.0	0.0	3.6	13.0	1.3	0.3
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	124.8	118.1	0.9	0.0	0.0	30.2	87.0	6.7	1.4
骨折 (再掲)	85.6	80.5	0.1	-	-	19.6	60.7	5.1	1.2
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8.3	6.6	0.0	-	-	2.0	4.5	1.8	0.0

注：宮城県の下巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は110.7千人であり、これを施設の種類別にみると、「病院」15.3千人、「一般診療所」78.9千人、「歯科診療所」16.5千人となっている。

在宅医療の種類別にみると、総数では「往診」35.7千人、「訪問診療」67.2千人、「医師・歯科医師以外の訪問」7.8千人となっている。(表5)

表5 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位：千人) 平成23年10月

年齢階級	推計外来患者総数	(総 数)				(病 院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総 数	7 260.5	110.7	35.7	67.2	7.8	15.3	6.5	6.3	2.6	78.9	29.2	46.5	3.2	16.5	14.4	2.1
0～14歳	789.7	1.0	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.9	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	-
15～34	695.3	2.5	1.3	1.0	0.3	0.9	0.7	0.1	0.2	1.0	0.6	0.2	0.1	0.7	0.7	0.0
35～64	2 411.3	13.2	5.2	6.2	1.8	3.8	2.0	0.6	1.2	6.4	3.2	2.8	0.3	3.1	2.8	0.3
65歳以上	3 329.9	93.7	28.2	59.8	5.7	10.6	3.8	5.6	1.2	70.5	24.5	43.3	2.7	12.7	10.9	1.8
(再掲)																
70歳以上	2 649.4	89.8	27.1	57.5	5.3	9.9	3.5	5.4	1.0	67.8	23.6	41.7	2.6	12.1	10.4	1.7
75歳以上	1 829.9	82.9	25.1	53.4	4.5	9.0	3.1	5.1	0.8	63.2	22.0	39.0	2.3	10.7	9.3	1.4

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。
 2) 「往診」とは、患者(介護老人保健施設等を含む)の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。
 3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者(介護老人保健施設等を含む)に赴いて診療を行うものをいう。
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。
 5) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。平成20年の同地域を除いた年齢階級「総数」の数値は、33頁の参考表3に掲載している。

(5) 来院時の状況

来院時の状況をみると、救急の受診による推計患者数は、「入院」270.3千人(入院総数に対する割合20.2%)、「外来」45.7千人(外来総数に対する割合0.8%)となっている。

これを施設の種類別にみると、入院では、「病院」263.4千人、「一般診療所」6.9千人であり、それぞれの総数に対する割合は、20.4%、13.6%となっている。外来では、「病院」37.1千人、「一般診療所」8.6千人であり、それぞれの総数に対する割合は、2.2%、0.2%となっている。

また、救急の受診の状況別にみると、救急車により搬送された推計患者数は、「入院」138.6千人(入院「救急の受診」に対する割合51.3%)、「外来」15.3千人(外来「救急の受診」に対する割合33.4%)となっている。(表6)

表6 来院時の状況別にみた推計患者数

平成23年10月

来院時の状況	推 計 患 者 数 (単位：千人)						構 成 割 合 (単位：%)					
	入 院			外 来			入 院			外 来		
	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所	総数	病院	一 般 診療所
総 数	1 341.0	1 290.1	50.9	5 898.0	1 659.2	4 238.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通 常 の 受 診	1 070.7	1 026.7	44.0	5 852.3	1 622.1	4 230.2	79.8	79.6	86.4	99.2	97.8	99.8
救 急 の 受 診	270.3	263.4	6.9	45.7	37.1	8.6	20.2 (100.0)	20.4 (100.0)	13.6 (100.0)	0.8 (100.0)	2.2 (100.0)	0.2 (100.0)
救急車により搬送	138.6	137.1	1.6	15.3	13.2	2.1	(51.3)	(52.0)	(22.9)	(33.4)	(35.6)	(24.0)
診療時間内の受診	71.1	69.9	1.2	7.3	5.9	1.4	(26.3)	(26.5)	(17.8)	(16.1)	(15.9)	(16.8)
診療時間外の受診	67.5	67.2	0.4	7.9	7.3	0.6	(25.0)	(25.5)	(5.1)	(17.4)	(19.7)	(7.2)
徒歩や自家用車等による救急の受診	131.7	126.3	5.3	30.4	23.9	6.5	(48.7)	(48.0)	(77.1)	(66.6)	(64.4)	(76.0)
診療時間内の受診	80.1	76.9	3.2	12.5	7.8	4.7	(29.6)	(29.2)	(45.8)	(27.4)	(21.2)	(54.3)
診療時間外の受診	51.6	49.4	2.2	17.9	16.0	1.9	(19.1)	(18.8)	(31.3)	(39.2)	(43.2)	(21.6)

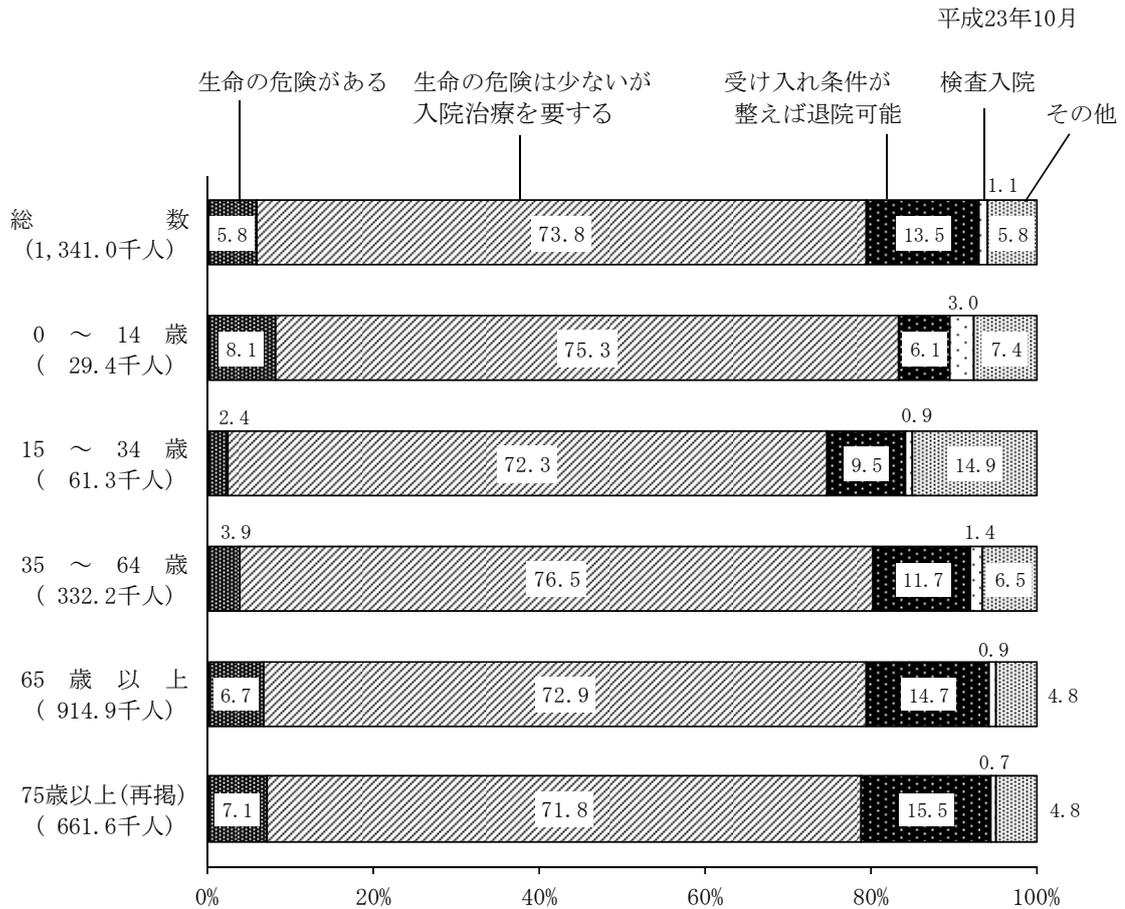
- 注：1) 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まれていない。
 2) 「救急車により搬送」とは、救急車で搬送され受診したものをいう。
 3) 「徒歩や自家用車等による救急の受診」とは、徒歩や自家用車等で来院し、救急で受診したものをいう。
 4) 「診療時間内の受診」、「診療時間外の受診」とは、医療施設が表示する診療時間内、外に受診したものをいう。
 5) 宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(6) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.8%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」73.8%、「受け入れ条件が整えば退院可能」13.5%、「検査入院」1.1%となっている。「受け入れ条件が整えば退院可能」は年齢階級が上がるに従い多くなっている。

(図1)

図1 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) () 内は、推計入院患者数である。
 7) 宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。